

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2016_6_25 三重会場)

～みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう～

参加者 **55**、アンケート回収 **52**

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。(複数回答あり)

新聞・雑誌	3	朝日 1
ちらし・DM	16	
友人・知人の紹介	10	
ウェブサイト・ブログ	11	県立図書館 HP 5、当財団 HP 2、Facebook 2、
メールリスト	9	県立図書館 5
その他	12	県立図書館 4、職場 2、教育委員会 2、こくち一ず 1、関係者 1
合計	61	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満	未記入
44	7	0	0	1

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由

- ・マルチメディアDAISYの存在は知っていたが、実際に実物を体験して、とても良い教材であることがわかった。今支援している子たちが本を読むことに興味を持ってないでいて困っていたので、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・わいわい文庫の申請の仕方が分かった。
- ・ディスレクシア当事者の神山先生から貴重なお話を聞くことができた。
- ・村瀬先生のICT活用の話も大変参考になりました。
- ・当事者の方のお話がとてもしみみました。こんな苦しい思いをしている人をなくしたいと強く思いました。
- ・様々な障がいに対して、具体的な活用方法を知ることができた。伊藤忠記念財団という財団の取り組みやその利用方法を知ることができ、今後職場でも伝えていこうと思った。
- ・分かることの喜びを支える様々な支援を知る機会になりました。
- ・岐阜在住ですが、肢体不自由支援校のICTの実践について聞きたくて、岐阜開催の方ではなく、三重まで来ました。来てよかったです。特に神山先生のお話の後だと、自己肯定感とICTとの関係がよりわかりやすかったですし、特別支援の教員の役割を再確認する事ができました。勤務校でも読みや教科書を使っての学習に難しさがある生徒が増えてきているので、今日教えていただいた情報を学校でも共有して生徒に還元してあげられそうです。ありがとうございました。
- ・一昨年も愛知県でお話を聞きましたが、今回の方がよりわかりやすくなっていました(私が理解できるようになったのか)。やはりこういう話は何度も聞くと分かってくる、と思います。特別支援学校の教員ですが、今回は障害を理解する本がたくさん紹介されていてよかったです。
- ・今日のようなテーマでお話を聞かせていただける機会は少なく、とても良い機会になりました。ありがとうございました。実際に接しられている方のお話もとても参考になりました。図書館に勤めておりますが、DAISY図書の収集、運用についてもどのようにすればよいのか、悩んでおりましたが、こちらがどのような気持ちを持つか、誰にどのように利用をしてもらおうと思うのか、大事なことに気付かせていただきました。今後も、デイジー図書の普及よろしくお祈りします。

- ・実際の経験や支援の現状を生で聞かせていただけて、胸にくるもの…がありました。道づれになります。私をとりまく環境・地域にもどり、今日のことを思い出し、何かできればと思います。
- ・さまざまな障害の度合いとそれに細やかに対応するためにICTが大変役に立つことがよく理解できました。特に村瀬先生のお話にあった、DAISY自体は使わなかったが自立のきっかけになったという事例は興味深かったです。
- ・DAISY図書(わいわい文庫)とってもよい。知らなかったお話が聞けて勉強になりました。これから役立てたいと思います。ありがとうございました。
- ・単純に“読めない、読みにくい”世界を持った子たち、人たちがいるという事だけは知っていましたが、それが“本”という物を楽しめない、楽しみを味わえないということ、それがわかっているようで、わかっていなかったという気付きと、その為に“どうしたらよいか”という事が具体的に知ることができ、これからの支援への幅が広がるきっかけとなった。
- ・当事者のお話を聴かせていただいて、困り感が具体的に理解できた。実際、困っている子どもに対して紹介できるものを知ることができた。
- ・ICTと教育について、いろいろと考え直す機会となりました。講師の先生方の話も、興味深いものでした。
- ・情報保障のための支援のいろいろな取り組みを聞くことができ、参考になりました。ありがとうございました。
- ・どの講座も、勉強になるものだった。読書のDVD、学校で使っていきたいので申込みの連絡をさせていただきます。良いものと出会えてよかったです。
- ・ICTを活用した授業づくりをする上で、ICTの“ツール”=手段としての考え方を知れた。
- ・実践例があって、自分のクラスの子どもなら…と考えることができた。
- ・具体的なお話でよく分かりました。学びたい、知りたい内容だったので勉強になりました。
- ・神山さんのお話大変よく分かりました。いろいろとわかりやすいようにご準備していただいたと察することができました。プレゼンの方法はすばらしかったです。今まで自分が他の人にかけてきた言葉で反省すべき声かけがたくさんあったであろうと、思いました。今日うかがったお話を今後の生活には生かせたらと思います。息子への気配りない言葉は少しでも減らしたいと思いました。
- ・障害を持っている人、その内容がこんなにたくさんあった事を知ることができた。
- ・読書支援が、質・量の両面で、まだまだ不足している状況がわかった。
- ・微力ですが図書館ボランティアの立場から、状況を接する方々に説明、報告して、支援活動の広まり、高まりになればと思います。
- ・読み書きに関する支援、マルチメディアDAISYの活用だけに留まらず、いろいろな支援や支援ツールを紹介していただけて、今後の教育支援にも使っていけるとと思います。ありがとうございました。
- ・どのお話も大変勉強になりました。成松先生のご著書「多様性とであう学校図書館」は私の司書教諭としてのバイブルになっています。「読み書きに困難のある子だからこそ学校図書館にしたい」という長年の願いを実践化できるきっかけになった本です。神山先生のお話は自分自身にとって胸に響く内容でした。教師としても母親としても、深く深くうなずくことばかりでした。村瀬先生の話は生徒への愛情がひしひしと伝わってきました。支援とはその子(人)にとって真に大切なことで、支援者の満足だったりその場しのぎであってはいけないことを改めて肝に銘じました。
- ・どの講師の方も、とてもわかりやすく話していただきました。個人的に知っている事は多かったです。整理して説明していただけたおかげで、自分の中でもより納得できました。良い講座を開催していただき、ありがとうございました。

- ・大学で司書過程を担当しています。障害のある人々の読書や障害のある人々への図書館資料についてほとんど知識がなく、これまで触れずにきました。しかし、今回のこの講座でよく分かりました。これをきっかけに勉強します。学生にも伝えます。
- ・障害という言葉は知っていても、現実的に障害と向き合うには…!?という事自体、今まで実感していなかったです。でも本日の研究会で、皆さんのお話を伺い、とても心に響いたものがありました。ありがとうございました。
- ・どの講座もわかりやすく、とても勉強になりました。神山先生の子どものときのお話は聞いていて辛かったのと同時に、自分も今まで子どもたちを知らずに傷つけていたのでは、と反省しました。
- ・読書に困難がある人達、今までの理解が浅かったことを実感しました。子どもたちの幸せを大事にした支援のためにできること、やらなければならないことを考えていかなければと思いました。多様性が認められるよう努力していきたいです。
- ・読書バリアフリー等、特に合理的配慮について全く知識が無かったし、いろいろなメディアで誰でも読書ができるという事はすばらしい事だと思います。
- ・可能性を感じられる内容でした。使う側のイメージーションと工夫が必要なので考えてみます。
- ・これまでDAISYについて勉強する機会がなかったので、現在の取り組み、事例を知ることができて、とてもよかったです。
- ・学校の図書館で仕事をしています。支援が必要な児童・生徒と関わることは今のところありませんが、読書が苦手な子どもたちへの配慮の必要性がよくわかりました。LLブックやDAISYなど初めてきくものも多く、知ること、知らせることの大切さ、必要とされているところとつなげるコーディネーターが重要になってくると思いました。
- ・障害者の介助について学んでいるため、参考になりました。弱視の中年の女性を介助している知人がいますので、今日の学びを伝えたいと思います。私は聴覚障害について特に学んでいますので、今日の「しゅわ絵ほん」に特に興味を持ちました。図書館で利用できるよになると便利だと思います。
- ・とても分かりやすく良かったです。支援につなげていけるお話でした。
- ・講師の先生方のお話がよく分かりました。今後の実践に役立ちそうな情報が随所にあり、参考になりました。
- ・特にディスレクシア当事者の主張が、ポイント整理されていて、わかりやすい講座でした。
- ・読書や学習の場で障害はどういうとらえ方をしているのか、障害のある人は実際にどのように感じているのかなどがとてもわかりやすく学ぶことができました。マルチメディアDAISY等も実物を見ることができて、よかったです。先生方のお話もわかりやすく、楽しく受講することができました。
- ・神山先生の実体験に基づいたお話が、心に響きました。日々の子どもの対話の中で、辛い思いをさせていないか…と問うことができました。また、成松先生のお話の中では、「インクルージョンとダイバーシティ」がまさに今の教育に欠けている(?)目指すもののズレ(?)を感じ、私自身の考えの再構築を迫られる思いをしました。今日一日、有意義な時間をいただき、感謝です。
- ・今までうけた中で一番よくわかりました。DAISYを実際に使った説明をもう少し加えて下さるとありがたいです。使って下さいと紹介するのに役立ちました。
- ・顔と顔がつながる関係を作り出して、読書の喜びを伝える契機にという発想(志)がすばらしい。
- ・多様な分野の方の話が聞いて大変良かった。“道づれ”作戦は、公務員や教員を対象とするより、もっと地域の方々に聞いてもらえる方が効果があると思う。
- ・当事者の方のお話もあり、とても響く研究会でした。ICTについても、利用者に合ったものをする必要がある。

- ・当事者の方の気持ちを聞かせていただけて、声かけ等気をつけないといけないと。自尊心持って大事。
- ・未記入 2

やや満足の理由

- ・様々な取り組みがあるのが分かった。
- ・日本語は横に表示された方がよい。目は横に動かす方がよい。
- ・図書館への理解を深めてほしい。
- ・自分の目的に合った講座は半分だけだった。しかしディスレクシアの人の気持ちや実践を聞くことで今後わいわい文庫を活用したいという気持ちが強くなりました。
- ・神山先生の当事者の話はとても良かった。ディスレクシアについて、もう少し系統的に対応方法を含め、話が聞きたかった。
- ・営利を度外視しているわけではないにしろ、この事業に取り組まれている御社のフィランソロピーの精神に感銘を受けました。
- ・公共図書館で生涯学習の観点からの高齢者、障害者に対するサービスの実例を紹介してほしかったです。
- ・マルチメディアDAISYの実物を見ることができ、具体的なイメージがつかめました。職場での活用を何とか実現したいと考えています。
- ・「ディスレクシア」がいったいどういう事なのか少しだけわかった気がします。
- ・未記入 2

満足度未記入（理由記載のみ）

- ・子どもたちの学ぶ力を育むためには、まず「読む」という行為をスムーズに行えるようにすることが、最も重要だと思います。どの子どもも好きな本を選んで、すらすら読めるようにサポートすることは、これからの学校図書館の大きな役割になると思いました。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・神山先生の当事者の話はとても具体的に参考になりました。そういう先生が指導者として存在しているという事も嬉しいし、うらやましい（同業者としても、保護者もそう思うでしょうね）と思いました。
- ・DAISY図書の内容で、水族館のこと（海の中のこと）が少ないと思います。各特別支援の学校は、修学旅行、校外学習でたいてい水族館に行きます。事前学習で使いたいので、ぜひ作ってください。「すいぞくかんに行こう！」お願いします。
- ・このような現状は、普通の教育現場（先生）に届いているのでしょうか？
- ・とても雰囲気の良い研究会でした。そして、財団の目指す“仲間づくり、広める、広げる”ことにとっても共感しました。これからも応援したいと思えます。ありがとうございました。
- ・著作権のこともありますが、外国籍の児童・生徒の中で日本語の学習言語を取得していない児童・生徒の教育にも使えるようになればいいなと思いました。特に鈴鹿はそういう児童が多いので（ブルーだけでなく白のCDもぜひ！！）。
- ・また三重で研究会を開いてください！
- ・あいさつでおっしゃったように「支援の輪」大切だなと思えました。ありがとうございました。
- ・知的障がい者への支援の仕方ももっと教えていただけたらうれしいです。家族としての支援の仕方も良い方法があれば、また教えていただきたいと思えます。

- ・電子図書普及部の皆様の熱い熱い想いと信念に胸を打たれました。明るく前向きに今後ともますますのご活躍を祈念いたします。今日はお二人と輪(道づれ)がつながったと思います。
- ・資料の準備にお手数をかけますが、プレゼン資料を載せていただくときに、オブジェクトの重なりを整理していただけるとありがたいです。可能であれば、バリアフリー書籍の販売があると嬉しいです。
- ・BLUEは雨天時などに「図書館シアター」として活用しています。障害の有無にかかわらず、物語をはじめとした「本」を好きになってほしいと願っているのです。有効活用させていただいています。毎年送っていただく「わいわい文庫」のおかげで、学校図書館の利用者が増えています。ありがとうございます。
- ・「外国籍は障害ではない」には、日本の行政の在り方を考えさせられました。
- ・もっと多くの人に参加してもらえるといい内容だと思いました。
- ・もっともっと誰でも利用できるように身近に利用できる場所があると。PR活動して広めてください。今日は非常に参考になり、勉強させていただきました。ありがとう！
- ・伊藤忠記念財団の取り組みはすばらしいと思います。よい取り組み、ずっと続けてください。これからも三重県でも勉強会を開催していただけることを望みます。私は障害者に対するサービスのことを勉強したいと思っているので(最近始めたばかりですが)よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。
- ・将来本を通した子どもの居場所を作ろうと考えています。神山先生のお話も文だけでなく、パワーポイント画面があると良かったです。
- ・老眼や難聴の高齢者にも楽しんでいただけたと思います。活用の幅を広げることがダイバーシティにつながると思います。またこのようなセミナーがあれば、参加したいと思います。
- ・今回の研修会やわいわい文庫を無料にして下さっている伊藤忠記念財団様、本当にありがとうございます。DAISYは私の勤務する学校ではすでに紹介済みで、常に「iPadインストール申込用紙」が職員室においてあります。DAISY 作成ソフトも購入しましたが、こちらはまだ機能していません。タブレットを利用するのが主です。Web から作品をダウンロードできると便利だと思いますが難しいですか…。来月の特別支援教育研究会で、利用したことを発表する予定です。
- ・読書困難の子どもたちのことが少しでも理解できました。ありがとうございました。
- ・主催者お二人のお人柄でしょうか、とっても温か～い雰囲気の研究會でした。
- ・図鑑のような DAISY があるといいな(21 世紀こども図鑑みたいなもの)。食べ物も人気ですが、音楽(うた)も喜ばれそうです。本の場合、広げてみているページでその子の興味のあることが分かるので、言葉のない子どもさんなどを理解するのに役立っています。DAISY ではどうでしょう。
- ・DAISY がある事を子どもたちに伝えるところが一番難しいです。
- ・親しみやすい中村さんに魅かれました。
- ・図書館の蔵書のひとつとして貸出可となるとよい。機器の導入は保守含め難しい部分がある。貸出対象となる方が、有償でも入手したいと思う。
- ・専門用語についてもう少し詳しく説明いただいたらなと思いました。初めてこういった研修會に参加したので、意味がよく分からない部分がありました。自分の勉強不足が原因なのですが…。
- ・中学生が体験学習で来るが、職員研修がされていない。視覚障害のある職員がいるとその人が担当になってしまう。担当者をおかない方がよいように思う。
- ・博物館や美術館でもこうした取り組みが必要だと思う。
- ・現場の人たちと一緒にこの事業を進めてみえる貴団はすばらしいと思いました。特に担当の方々のお人柄がとてまあたたく分りやすく、熱意が感じられ心に残りました。一つ残

念なのは講師の方の写真撮影回数が多くなかったかなと思いました(やはり講義中は刺激が少ない方が集中できるので)。これからのご活躍に期待しています。道づれ作戦！よかったです。

- ・視覚障害、ディスレクシア、肢体不自由+知的障害、それぞれからの報告があつて、その意味ではよかつた。
- ・矢部氏の折角のプレゼン時に、ご本人がスクリーンの映像をさえぎっていたため、見づらかつたのが残念でした。
- ・LDの子(単語、ことばの区切りが分からない)に対して、ハイライトの長さを、ことばと助詞にまで分割できるようにして下さるとありがたいです。
- ・スライドの配布資料が小さく、細かい字が後で判別しがたく残念でした。6スライドではなく、2スライドくらいで印刷していただくとありがたいです。(無理なら4スライド(横)でも…)。
- ・教科書(マルチメディア DAISY)がもっと簡単にわいわい文庫のように取り扱えるとよいのに…と思います。著作権など難しいハードルがあるのかと思います。フリーソフト文書ダウンロードが難しく手間がかかりなかなか利用が定着していない。
- ・未記入 23